

# 青森県立三本木農業恵拓高等学校

## COW飼う'S

高校生ボランティア・アワード2023



### 「高オレイン酸ヒマワリ栽培で景観改善と飼料生産の両立」

#### 令和4年度活動概要

私達の活動は、「美味しい牛肉生産」を目標とした先輩方の研究活動を引き継ぎ、トータル4年目を迎えました。私達の研究は、牛肉の脂肪中オレイン酸割合を向上させて、美味しく口当たりが良いだけでなく、健康面に優れた和牛生産に取り組んでいます。その方法として、北海道名寄市で栽培が盛んな、「高オレイン酸ヒマワリCOBALT II」を本校で栽培して、収穫した種子を粉碎して餌として給与しています。

令和5年1月に開催された第6回和牛甲子園に本校から2頭出品したところ、脂肪中オレイン酸割合では、全55頭中1位と4位の好成績でした。出品した2頭を地元スーパーで販売したところ、和牛1頭を売り捌くのに3週間程度かかるところを何と17日間で2頭完売するほど好評でした。

食育活動の一貫として、保育園でヒマワリ栽培を体験してもらい、その種子を本校に提供していただきました。その種子を和牛甲子園の出品牛2頭に給与したことから、COW飼う'Sよりお礼の気持ちを兼ねて、出品牛のお肉を給食に使って頂きました。



ヒマワリ満開の様子



ヒマワリ収穫後様子



種子粉碎の様子



第6回和牛甲子園出品牛 左:みむ号 右:より号



保育園用に苗を準備



園長先生に苗を贈呈



ヒマワリ満開の様子

出品結果  
全国の農業高校から55頭が出品され、脂肪中オレイン酸割合の項目では、**みむ号が全体の1位、より号が4位**



みむ号:A5(BMS.9)



より号:A5(BMS.10)

脂肪中オレイン酸割合:60.7% 脂肪中オレイン酸割合:59.3%



精肉担当の佐藤さんから、リピーターが沢山いて、高評価をいただきました。



スーパー「ヤマヨ」での販売の様子



3月7日の給食で、牛丼に使っていただきました。美味しいといって、皆さんあっという間に完食してくれたそうです。

給食を食べている様子



生徒達から活動に協力して頂いたお礼として保育園へ牛肉を寄付



セリの結果、株式会社スターゼンさんが購入し、地元スーパー「ヤマヨ」で販売

#### 「令和5年度の活動内容・課題」

- ①飼料生産活動
- ②景観改善活動
- ③保育園での植栽活動

これら3つの活動を柱に活動を行っていきます！！



害虫による食害と実入りの悪さ 金子ファームでの倒伏 園児と一緒に活動

- 飼料生産活動としては、昨年度は収量が大幅に落ちた原因として、葉の食害が上げられます。対策として、コガネムシに忌避効果のある燐炭を発芽後に散布し、変化を調べていきます。
- 景観改善活動としては、本校OBが経営する金子ファーム「NAMIKI」の圃場で昨年に引き続き栽培するのですが、昨年は豪雨に耐えきれずに倒伏したことから、ヒマワリ迷路を作りながら、対策を立てていきます。
- 新型コロナウイルスも5類に引き下げられたので、園児と一緒に植栽活動を行いたいと考えています。

#### 「JAグループから取材」

高校生ボランティアアワード2022でアップされたポスターをみて、「JAグループ家の光協会」から取材を受け、広報雑誌「地上」に活動内容が掲載されました。

#### 「本研究への研究助成」

令和4年度は、本研究に対して、「一般財団法人東洋水産財団」より、学術奨励金の補助をしていただきました。ありがとうございました。今年度は「公益財団法人中谷医工計測技術振興財団」より、学術奨励金の補助をしていただけることになりました。

私達は、青森県の畜産業に貢献できるように、研究活動や学会、コンテストなど、様々な活動に対して、全力で取り組んでいきます。ありがとうございます。



#### 活動団体プロフィール

私達は、青森県立三本木農業恵拓高等学校動物科学科の産業動物研究班「COW飼う'S」です。チーム名の由来は、現在の3年生全員が家業で牛の飼育を行っている後継者であることから、私達の先輩でもある三農畜産科の卒業生でHR担任兼指導教諭の松本先生より名付けてもらいました。昨年度は、高校生ボランティアアワード2022を筆頭に、日本動物学会、日本土壌肥料学会に参加し、研究としてのさらなる飛躍となる年でした。実際に、ヒマワリ種子を給与した牛が、和牛甲子園で脂肪中オレイン酸割合1位と4位を記録し、研究の成果が現れています。また、景観改善を推進していくために、環境について知識を深めるために、環境甲子園、全国ユース環境活動発表大会東北大会に出場しました。さらに、高校生ビジネスプラングランプリでは、準グランプリを受賞し、全国の舞台でCOW飼う'Sの活動を発表することができました。

今年度は、後輩が5名増え、11人で活動を行っています。今年度は本活動以外にも、飼料価格の高騰対策として地域の未活用資源をエコフィードに活用していく研究にも取り組んでいます。私達は、新しいブランド牛肉の確立、土壌や景観といった環境の改善といった地域の課題を解決していくために活動していきます。